

## 施策の実施方針について

- 令和2年度に策定した「豊見城市交通基本計画」、令和3年度に策定した「豊見城市総合交通戦略」において、豊見城市における交通に関する課題や基本方針、将来像、施策、指標を明記しており、公共交通に関連する施策を推進するために、各施策の具体的な進め方を検討する。
- 次項より、総合交通戦略で示した個別施策の取り組み方針を整理する。

表 総合交通戦略の個別施策

| 基本方針                       | 施策                                    | 個別施策  |                           |
|----------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------|
| 体系的な道路ネットワークの形成            | 自動車専用道路、主要幹線道路、幹線道路、補助幹線道路、生活道路の整備    | 【No.1】 渋滞緩和や移動を円滑にするための道路整備の推進                |                           |
|                            | 交差点改良等の推進                             | 【No.2】 市内主要渋滞箇所の交差点改良の推進                      |                           |
|                            | 道路の維持・管理                              | 【No.3】 道路環境の維持のための定期的な点検・維持管理の推進              |                           |
| 誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成      | 新しい公共交通システムの導入                        | 【No.4】 LRT、モノレールなど基幹公共交通の導入検討の推進              |                           |
|                            | 路線バスの利用環境の拡充                          | 【No.5】 公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みの推進               | 【No.5-1】 地域公共交通計画の策定      |
|                            |                                       |   | 【No.5-2】 公共交通ネットワークの拡充の検討 |
|                            |                                       | 【No.6】 公共交通の利用促進に向けた取り組みの推進                   |                           |
|                            | 多様なフィーダー交通網の構築                        | 【No.7】 ラストワンマイルにおける交通手段の導入検討の推進               |                           |
|                            | 交通結節点の整備                              | 【No.8】 交通結節点の整備の推進                            |                           |
| MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用 | 【No.9】 MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用の推進  |   |                           |
| 安全・安心・快適な交通空間の創出           | 安全・安心・快適な歩行空間の創出                      | 【No.10】 安全・安心な歩行空間の整備推進                       | 【No.10-1】 通学路安全点検の実施      |
|                            |                                       |   | 【No.10-2】 自治会との意見交換会の実施   |
|                            |                                       |   | 【No.10-3】 安全・安心な環境整備の推進   |
|                            | 自転車利用の促進                              | 【No.11】 魅力的な空間・サービスの拡充推進                      | 【No.11-1】 道路空間の活用推進       |
|                            |                                       |   | 【No.11-2】 移動販売店などのサービスの拡充 |
|                            |                                       | 【No.12】 自転車ネットワーク計画の策定                        |                           |
|                            |                                       | 【No.13】 自転車利用に関する取り組み・整備の推進                   |                           |
|                            | 交通事故を抑止するための安全教育の充実                   | 【No.14】 交通事故を抑止するための安全教育の充実                   |                           |
| 災害に強い交通体系の整備の推進            | 【No.15】 災害に強い交通体系の整備の推進               |   |                           |
| 道路景観の整備保全促進                | 【No.16】 道路景観の整備・保全の推進                 |   |                           |
| クルマに頼り過ぎないライフスタイルへの転換      | モビリティマネジメント (MM)、交通需要マネジメント (TDM) の推進 | 【No.17】 モビリティマネジメント (MM)、交通需要マネジメント (TDM) の推進 |                           |

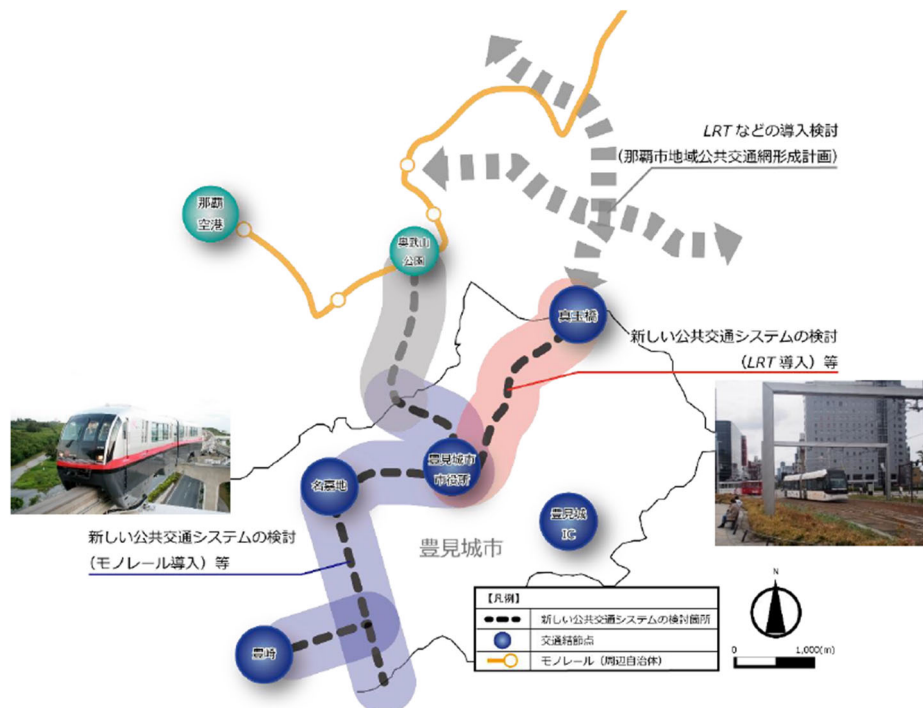
## 基本方針 2. 誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成

### 【施策】新しい公共交通システムの導入

#### LRT、モノレールなど基幹公共交通の導入検討の推進

##### 《取組内容》

- 沖縄県や隣接する那覇市、糸満市などの関係機関と連携し、LRT やモノレールなどの新たな公共交通システム導入を検討



##### <スケジュール>

| 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|------|------|------|------|------|
| 検討   |      |      |      |      |

##### <参考事例>

#### LRTの導入（富山市）

富山市では、平成 18 年に富山ライトレール、平成 21 年に市内電車の富山都心線、令和 2 年に富山駅南北接続事業が完成して、北のライトレールと南の富山地方鉄道市内電車を接続。

それに伴い、利用者数が横ばい傾向から増加に転じており、公共交通全体としても、交通結節機能の強化により、利用者数は増加傾向。



【出典】富山市資料

## 【施策】路線バスの利用環境の拡充

### 公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みの推進

#### 《取組内容》

#### 公共交通ネットワーク拡充の検討

- 公共交通の需要が期待される市東部の利便性向上
  - 現在、バス路線は市東部よりも西部の路線が多くなっているが、人口や通勤通学状況を見ると、市東部にも一定の需要があると考えられるため、東部での路線バスルート変更を含めて、利便性向上に向けた検討を行う。
- 豊見城市内一周バス（105番）のルート検証・見直し
- センサーによるバス乗降データの取得推奨
  - 乗降センサー設置により、恒常的に乗降者数データを取得することで、施策の効果確認、再編時の検討材料に活用

#### <スケジュール>

| 2023                      | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|---------------------------|------|------|------|------|
| 公共交通利便性向上                 |      |      |      |      |
| 検討・利用状況をふまえた拡充            |      |      |      |      |
| 豊見城市内一周バス（105番）のルート検証・見直し |      |      |      |      |
| 実施                        |      |      |      |      |
| センサーによるバス乗降データの取得の推奨      |      |      |      |      |
| 実施                        |      |      |      |      |

#### <参考事例>

#### 公共交通ネットワークの再編（南城市）

南城市では、令和元年6月に策定した「南城市地域公共交通再編実施計画」に基づき、市役所バス停を起点に路線バスの発着を集約、新たに支線バスの運行、支線バスを補完するデマンド交通の運行を位置づけるなどの取り組みを推進。



【出典】認定を受けた地域公共交通利便増進実施計画（概要）（国土交通省）

## 公共交通の利用促進に向けた取り組みの推進

### 《取組内容》

- 公共施設やコンビニエンスストア等と連携したバス待ちスペースの設置
  - ・ 周辺の施設と連携してバス待合室を設置するとともに、利便性向上のため、バス接近状況等が分かるバス時刻電光掲示板や無料 Wi-Fi の導入検討
- 既存のバスナビアプリの利用促進のための PR
- バスダイヤの見直し
- バス運行関連情報のオープンデータ化への取組を推奨

### ＜スケジュール＞

| 2023                          | 2024    | 2025 | 2026 | 2027 |
|-------------------------------|---------|------|------|------|
| バス待ちスペースの提供<br>実証実験           | 必要に応じ拡充 |      |      |      |
| 既存のバスナビアプリの利用促進のための PR<br>実施  |         |      |      |      |
| バスダイヤの見直し<br>検討・利用状況に応じ見直し    |         |      |      |      |
| バス運行関連情報のオープンデータ化への取組推奨<br>実施 |         |      |      |      |

### ＜参考事例＞

#### 市役所バス待合室（新潟市）

バス待合室とトイレを設置。バス待合室には、自動販売機やりゅうとチャージ機、バス時刻表示モニタがあり、無料 Wi-Fi が利用可能。



【出典】新潟市 HP

#### 標準的なバス情報提供フォーマットによるオープン化

バスロケーションシステムに登録された各種マスタデータおよび車両のリアルタイムな位置・状態を GTFS(標準的なバス情報フォーマット)に整備し、オープン化。Google 等の経路検索事業者に提供することで、バス以外の交通手段と合わせたシームレスな検索が可能に。



【出典】国土交通省資料

**【施策】多様なフィーダー交通網の構築**

**ラストワンマイルにおける交通手段の導入検討の推進**

《取組内容》

- タクシーとバスを組み合わせた割引クーポンの販売検討
- グリーンスローモビリティの導入検討
- シェアサイクルの利用促進

<スケジュール>

| 2023                       | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------------------------|------|------|------|------|
| タクシーとバスを組み合わせた割引クーポン<br>検討 |      | 実施   |      |      |
| グリーンスローモビリティの導入検討<br>検討・協議 |      |      |      |      |
| シェアサイクルの利用促進<br>実施         |      |      |      |      |

<参考事例>

**ICカードを利用した乗継割引（大阪シティバス）**

バス利用を促進するため、ICカードを使ってバス→バス、バス→地下鉄等乗り換えると、乗り継ぎ状況に応じた割引が適用。



【出典】大阪シティバス

**パーソナルモビリティの充実（千葉市）**

JR 海浜幕張駅では駅周辺にシェアサイクル等のパーソナルモビリティポートを整備し、アウトレットパークや海浜公園、幕張メッセなど広い範囲に点在している各施設の回遊利便性を向上。



【出典】千葉市 HP

### グリーンスローモビリティによる観光地周遊（日光市）

日光市では日光東照宮・日光山東照宮・二荒山神社を含む日光西町エリアを30分で1周する、1回150円で利用可能なグリーンスローモビリティによる周遊バスを運行。

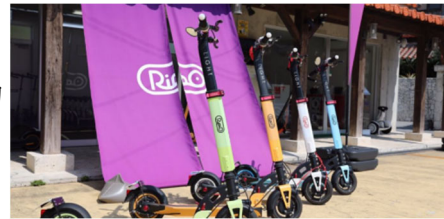


【出典】日光市 HP

### 電動キックボードのレンタル（恩納村）

民間事業者 Rimo により、那覇空港と恩納村で電動キックボードのレンタルが可能に。

那覇空港でレンタルした電動キックボードは目的地の駅までモノレールで運べ、降車後は観光地まで公道で移動可能に。



【出典】RimoHP

### 遠隔型自動運転システムによる無人自動運転移動サービス（北谷町）

経済産業省・国土交通省が連携し、遠隔型システムによる自動運転の技術・サービスの実証実験を北谷町で実施。2021年3月末より地元の「北谷タウンマネジメント&モビリティサービス合同会社」に運行を移管し、無人自動運転移動サービス「美浜シャトルカート」の運行を開始。

#### (沖縄県北谷町)遠隔型自動運転システムによる無人自動運転移動サービスの事業概要

- 3月31日より、沖縄県北谷町の海岸沿いの町有地（非公道）を活用し、遠隔監視・操作室にいる1人の遠隔運転手が2台の無人自動運転車両を運行する形で、サービスを開始（保安要員が乗車）。
- レベル3の認可を受けた永平寺と同じ遠隔型自動運転システムを搭載した車両を活用。
- 受容性を高めるため、観光地の雰囲気に合わせて装飾を施した車両デザインに変更。

- 運行開始日: 令和3年3月31日
- 運行ルート: 北谷町の海沿いの道路(約2km、非公道)の周回路(町有地)
- 運行主体: 北谷タウンマネジメント&モビリティサービス合同会社(地域で事業会社を設立)
- 利用料金: 無料(車内広告収入等で賄う予定)
- 運行形態: 遠隔にいる1名の運転手が2台の自動運転車両を運行

※レベル3認可を受けた永平寺と同じ遠隔型自動運転システムを搭載した車両を活用

※当社は保安要員(運転手ではなく、車内の安全対策等のために乗車するもの)が車両後部座席に乗車した形で運行



視認・認識・安全・受容性向上のため車体デザインを変更  
・車体デザインをもちろん電柱に【視認性、受容性】  
・周辺歩行者への注意喚起は緑色【認識性】  
・カーブ等での走行軌跡を路面表示【安全性】

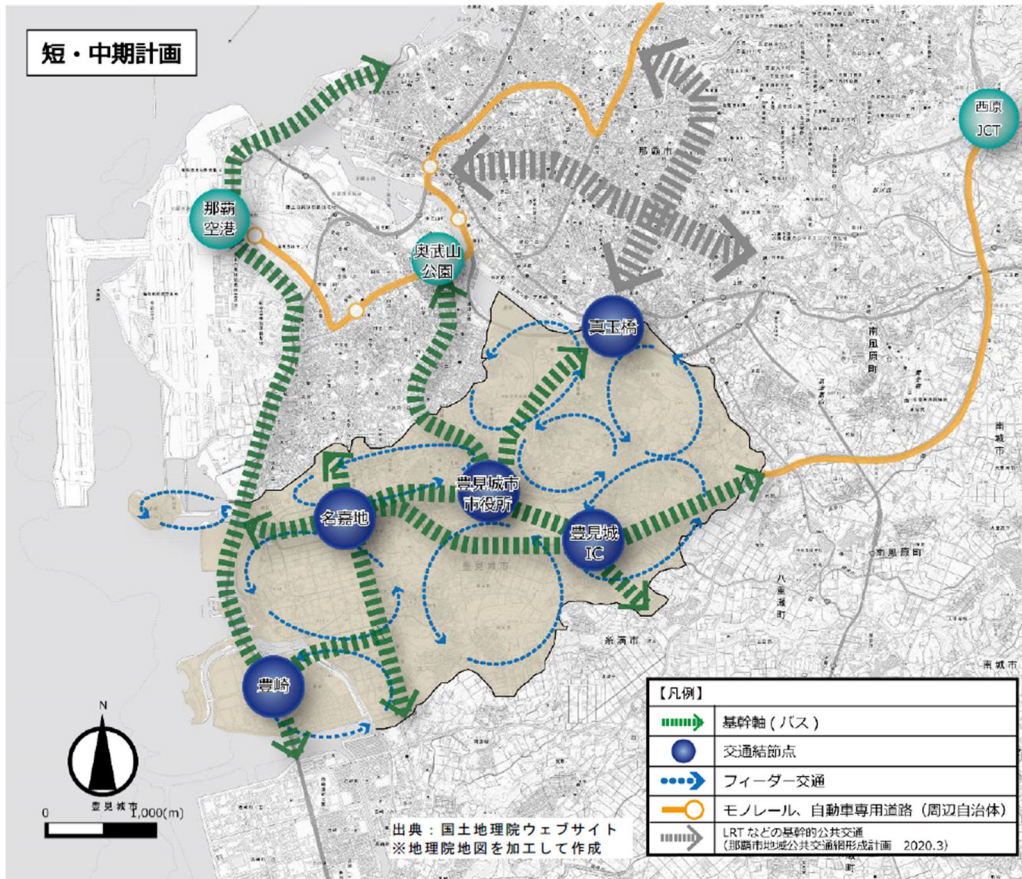
【出典】経済産業省 HP

【施策】交通結節点の整備

交通結節点の整備の推進

《取組内容》

- 将来的に交通結節点の役割を担うことが想定される 5 か所(市役所周辺エリア、豊崎エリア、真玉橋エリア、名嘉地エリア、豊見城 IC エリア) について、結節点としての機能整備を実施



- **豊見城市役所** : まちの顔としてバス待ちスペース等の機能整備 (バス待ちスペース、バス時刻掲示板、フリーWifi) の検討
- **道の駅豊崎周辺** : 手荷物預かり、郵送サービスの導入、ラストワンマイル交通の導入、待合場所の確保を実施
- **真玉橋** : 那覇市の LRT 構想等を踏まえた検討
- **名嘉地** : 那覇空港自動車道小禄道路の開通後の交通状況等を踏まえた検討
- **豊見城 IC** : 豊見城総合公園周辺のスポーツ拠点エリア構想を踏まえた検討

<スケジュール>

| 2023                 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------------------|------|------|------|------|
| 豊見城市役所<br>整備・検討      | →    |      |      |      |
| 道の駅豊崎周辺<br>検討        | →    |      |      |      |
|                      |      | 実施   | →    |      |
| 真玉橋、名嘉地、豊見城 IC<br>検討 | →    |      |      |      |

## <参考事例>

### 百貨店の交通拠点化（北上市）

公共交通での買物利便性を向上させ、百貨店・公共交通双方の利用を促進する。北上市では、市民の生活利便性等の向上などのため、百貨店を交通拠点として整備している。整備後、百貨店にはバスを利用した買い物客の増加等の効果が確認されている。

#### 事例）百貨店の交通拠点化に係る役割分担と効果 （岩手県北上市）

- ・北上市では、乗継利便性や市街地回遊性の向上を目的に、中心市街地の百貨店「さくら野百貨店」の交通拠点化を実施。
- ・交通拠点化にあたり、百貨店側はロビーの一部を待合スペース用に提供したほか、インフォメーションセンターで交通案内やバスカードの販売等を実施。
- ・市は待合スペースの備品や掲示物の整備費用と、バスロケーションシステムの導入及び維持費用を負担。
- ・拠点整備後、百貨店側には、バスを利用した買い物客の増加等の効果がみられた。



<百貨店で買物後、バスに乗る利用者>  
資料：北上市

【出典】岩手県北上市「百貨店の交通拠点化に係る役割分担と効果」

### 道の駅内に公共交通ターミナルを整備（南三陸町）

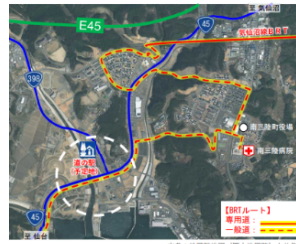
南三陸町では、震災復興記念公園・南三陸さんさん商店街に隣接する形で道の駅の整備を進め、内部には高速バス・BRTなどの公共交通と超小型モビリティを備えた交通結節点機能の強化について検討中。

#### 道の駅内にBRTなどの公共交通ターミナルを整備

- 復興記念公園や商店街と併せて地域の拠点となる道の駅内に、公共交通ターミナルを一体的に整備し、気仙沼線BRTの駅を移設する予定。
- 気仙沼線BRTにより、復興記念公園や商店街、道の駅へのアクセス、さらには、町の中心部や観光地へのアクセスを確保。
- 道の駅の公共交通ターミナルからのラストマイル交通の整備に向けて、超小型モビリティ（1人乗り）のシェアリングサービスの導入に関する社会実験を実施するなど、さらなる交通結節点機能の強化について検討中。



バス高速輸送システム（BRT）  
出典：JF東日本ホームページ



出典：地理院地図（国土院）より作成



Hamo南三陸“さんさん”ライド  
エコで快適に南三陸をラクラク周遊！  
出典提供：（一社）南三陸町観光協会

- ・事業者 H a m o 南三陸さんさんライド
- ・目的 町内での移動手段確保及び観光振興
- ・概要 超小型電気自動車「COMS（コムス）」を活用したシェアリング実証実験を実施
- ・期間 令和元年7月20日～9月29日

12

【出典】国土交通省資料



**【施策】 MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用**

**MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用の推進**

《取組内容》

**キャッシュレスサービスの拡充**

- 県や交通事業者と連携し、タクシーのキャッシュレス化を推進
- 現金から交通系 IC カードへの転換を促進

**MaaS サービスの活用検討**

- 県内において展開されている様々な M a a S 事業の動向を踏まえ検討  
例（高齢者の買い物支援や、観光施設との連携等）

＜スケジュール＞

| 2023                          | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|-------------------------------|------|------|------|------|
| タクシーのキャッシュレス化<br>検討           |      | 実施   |      |      |
| 現金から交通系 IC カードへの転換を促進<br>実施   |      |      |      |      |
| MaaS サービスの活用検討<br>検討結果をふまえて実施 |      |      |      |      |

＜参考事例＞

**高齢者向け定期券「シニア半わり」（新潟市）**

高齢者の外出を促進するため、高齢者を対象とした市内割引定期券を発売。

新潟交通の「りゅーとカード」に対して半額利用可能な7,000円分（一人一月あたり）のチャージを付ける。ICカード非対応のバスでも「シニア半わりりゅーと」カードを運転手に提示することで、半額運賃で利用可能となる。



## マイナンバーカードと連携して地域サービスを提供（前橋市）

前橋市では「誰一人取り残されない」「個別最適化」したサービスを目指し、前橋型 MaaS「MaeMaaS」とマイナンバーカードを連携させ、タクシー利用時の自動割引（高齢、障がい者等）や複数デマンドバスの一括予約などを行えるサービスを展開。今後はマイナンバーカードの特徴を生かして、医療・救急方面での情報連携も進める計画。



## 沖縄スマートシフトプロジェクト（沖縄県）

MaaS アプリ「my route」を活用して、複数の移動手段（バス・タクシー・レンタカー・海上交通等）を組み合わせた検索と、行先の食事・観光地・イベントスポット等の情報を提供するサービスを、2022年1月から提供。

| 領域  | 実施内容  | 連携先・連携内容                               |
|-----|---|--|
| 観光  | 観光情報と連携し、観光客の移動手段の最適化、観光客の移動手段の最適化、観光客の移動手段の最適化 | 観光客の移動手段の最適化、観光客の移動手段の最適化、観光客の移動手段の最適化 |
| 交通  | 公共交通機関と連携し、公共交通機関の移動手段の最適化、公共交通機関の移動手段の最適化      | 公共交通機関の移動手段の最適化、公共交通機関の移動手段の最適化        |
| 防災  | 防災情報と連携し、防災情報の提供、防災情報の提供、防災情報の提供                | 防災情報の提供、防災情報の提供、防災情報の提供                |
| 生活  | 日常生活と連携し、日常生活の最適化、日常生活の最適化、日常生活の最適化             | 日常生活の最適化、日常生活の最適化、日常生活の最適化             |
| その他 | その他と連携し、その他の最適化、その他の最適化、その他の最適化                 | その他の最適化、その他の最適化、その他の最適化                |

## 観光型 MaaS の導入（沖縄県）

沖縄 MaaS では、バス、フェリー等の交通手段と観光施設、商業施設など一体となったチケットの販売を実施。

### 沖縄MaaSって？

沖縄MaaSは沖縄県内のモノレール・バス・フェリーなどの交通手段や観光施設、商業施設などの様々なチケットをスマホひとつで購入できるサービスです。

※MaaSとは Mobility as a Service の事で、今まで個別に行っていた公共交通機関の路線検索や予約・支払いなどを一つのサービスとして統合する新しい交通システムの概念です



## OKICA♡WARI（沖縄県）

交通カード OKICA を使って公共交通で移動すると、対象店舗で特典等を受けられる施策を実施。



【出典】OKICA HP

### バス利用者お買い物手形（甲府市）

甲府市上九一色地区では、市民・バス事業者・行政・企業が協働し、バス交通を持続可能なものとする目的のため、コミュニティバス運行経路内にある商業施設において、商品割引サービスが受けられる「バス利用者お買い物手形」サービスを行っている。



【出典】甲府市 HP

## 基本方針4. クルマに頼り過ぎないライフスタイルへの転換

### 【施策】モビリティマネジメント(MM)、交通需要マネジメント(TDM)の推進

#### モビリティマネジメント (MM)、交通需要マネジメント (TDM) の推進

##### 《取組内容》

##### モビリティマネジメント (MM)

- 市役所、市内の企業に対して、通勤におけるモビリティマネジメントを実施
- 学校教育におけるモビリティマネジメントの実施
- 転入者を対象としたモビリティマネジメントの実施
- 公共交通の利便性を向上するためのマップの配布や公共交通利用による経済性の向上、環境への負荷の軽減について周知啓発

##### 交通需要マネジメント (TDM)

- パーク&ライド駐車場を活用した公共交通への転換
- ノーマイカーデーの実施

##### <スケジュール>

|                      | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|----------------------|------|------|------|------|------|
| 事業者に対するモビリティマネジメント   |      |      |      |      |      |
| 検討                   | →    |      | 実施   | →    |      |
| 学校教育におけるモビリティマネジメント  |      |      |      |      |      |
| 実施                   | →    |      |      |      |      |
| 転入者を対象としたモビリティマネジメント |      |      |      |      |      |
| 実施                   | →    |      |      |      |      |
| 公共交通利用にむけた周知啓発       |      |      |      |      |      |
| 実施                   | →    |      |      |      |      |
| パーク&ライド駐車場           |      |      |      |      |      |
| 検討                   | →    | 実施   | →    |      |      |
| ノーマイカーデーの実施          |      |      |      |      |      |
| 検討                   | →    | 実施   | →    |      |      |

＜参考事例＞

小学生向けの公共環境学習用素材の提供（滋賀県）

滋賀県では、小学生向けの「交通環境学習」プログラム用のメニューや教育素材を提供して、県内小学生への学校教育MMを推進。

鉄道（JR新幹線・在来線、近江鉄道、信楽高原鉄道、京阪大津線）やバスなど多くの公共交通が県内を走っており、子供のころから公共交通利用に馴染ませることで、成人後も自家用車だけに頼らない移動ができるよう、学校教育MMを各市町村で実施。



【出典】滋賀県甲賀市 HP

県内バス・電車無料の日（熊本県）

熊本桜町ターミナルの開業に合わせ、その認知拡大や、開業初日における駐車場の混雑対策を目的に「電車・バス無料の日」を実施した。

当日のバス電車の利用者数は約 25 万人と、ふだんの土曜日の 2.5 倍となり、老舗百貨店や大きな商店街が並ぶ中心市街地の来訪者数は 1.5 倍に増加している。九州産交グループの分析では、「無料の日」の経済効果は、約 5 億円と推計されている。



【出典】九州産交グループ

デジタルスタンプラリー（松戸市）

専用アプリ「furari」をインストールして市内 10 か所に設置されたチェックポイントで QR コードを読み取ってスタンプを集めると、集めた数に応じて商品応募が可能となる。また各チェックポイントの店舗で割引サービス等を受けることができる。



【出典】新京成電鉄 HP